

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当を行う場合 毎年9月30日 (その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)
公告方法	電子公告の方法により行います。 ホームページアドレス <a href="http://www.honyakuctr.com">http://www.honyakuctr.com</a> ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都港区芝3丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所 (電話お問合せ) (郵便物送付先)	東京都杉並区和泉2丁目8番4号(〒168-0063) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 各種手続用紙のご請求は下記のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。 ○フリーダイヤル 電話 0120-87-2031 ○ホームページアドレス <a href="http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html">http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html</a>
同取次窓口	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店
上場証券取引所	大阪証券取引所 ニッポン・ニュー・マーケット「ヘラクレス」
証券コード	2483

**株券電子化実施後の手続のお申出先について**

平成21年1月5日(月曜日)から、上場会社の株券電子化が実施されます。これに伴い、上場会社の株券はすべて無効となり、株主様の権利は電子的に証券会社等の金融機関の口座で管理されますので、以下のとおり手続のお申出先が変更となります。

**1. 株券電子化後の未払配当金の支払のお申出先**

これまでどおり、株主名簿管理人にお申出ください。

**2. 株券電子化後の住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等のお申出先**

①証券保管振替機構(ほぶり)に株券を預けられている株主様:お取引証券会社等

②証券保管振替機構(ほぶり)に株券を預けられていない株主様:特別口座を開設する下記口座管理機関

なお、②に該当される株主様につきましては、証券会社等のご本人様口座への振替請求を含めまして、お申出を受付けることができるのは、特別口座に記録される予定日であります平成21年1月26日(月曜日)からとなりますのでご了承ください。

**見直しに関する注意事項**

この報告書には、翻訳センターグループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で入手可能な情報から判断した見込みであります。世界経済の動向、税制や諸制度などに関するリスクや不確実性を際限なく含んでおり、実際の業績や結果は当社の見込みと異なる可能性があることをご承知おきください。



株式会社 翻訳センター

お問合せ先

本社

〒541-0046  
 大阪市中央区平野町2丁目5番8号  
 平野町センチュリービル9F  
 Tel: 06-6204-1640  
 e-mail: info@honyakuctr.co.jp



第23期 中間期のご報告

2008年4月1日～2008年9月30日

株式会社 翻訳センター



# 国際ビジネスで求められる 翻訳の枠を超えた 高付加価値サービスを提供します。



代表取締役社長 東 郁男

## 当第2四半期累計期間の業績について、 各分野の状況を含め説明してください。

当第2四半期累計期間における我が国経済は、世界的な景気の低迷が懸念される中であって、国内産業界でも工作機械受注の減少や設備投資抑制、輸出関連企業のグローバル展開の見直しが進むなど、厳しい経営環境が続きました。このような状況の下、収益を確保すべく積極的な営業を展開した結果、売上高は2,226百万円（前年同期比8.6%増）を達成することができました。一方、営業利益につきましては、活発な人員採用により人件費は増加しましたが、米国子会社の本格稼働により、これまでの先行投資負担が減少し、149百万円（前年同期比5.5%増）に、経常利益は149百万円（前年同期比4.0%増）、四半期純利益は76百万円（前年同期比22.6%増）となりました。

分野別の売上状況につきましては、特許分野は、特許事務所からのバイオ関連や電気・通信関連の出願用明細書などの受注に加え、企業の知的財産権関連部署からの受注も増加し、売上高は855百万円（前年同期比14.1%増）となりました。医薬分野では、メガファーマからの申請関連資料の受注が堅調に推移したことに加え、メディカルライティングと翻訳の複合案件の継続受注により、売上高は682百万円（前年同期比11.9%増）となりました。工業分野では、新興国向けの海外展開を強化している自動車関連や輸送用機器関連企業からの受注や、エネルギー及び電気通信分野からの受注により、売上高は479百万円（前年同期比8.3%増）となりました。金融分野では、米国金融市場の影響をダイレクトに受け、外資系金融機関からの受注が鈍化したことにより、売上高は180百万円（前年同期比14.5%減）となりました。

## 事業領域の強化・拡大に向けての 新しい取り組みについて説明してください。

新たな取り組みとしては、人材派遣会社「株式会社HCランゲージキャリア」を設立（100%子会社）、新たな事業分野拡大に向けてスタートしたことが挙げられます。従来の翻訳・通訳業務に加えて、語学とビジネススキルを備えた人材の派遣事業を展開することで、顧客企業に対してより付加価値の高い総合的なサービスを提供することが可能となります。

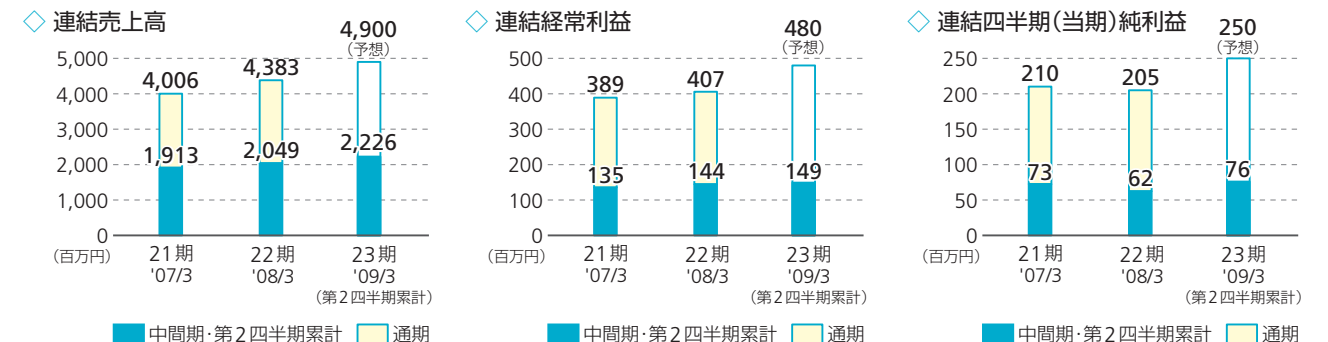
また、海外戦略上では、米国に次ぐ2つ目の拠点として、中国・北京に翻訳会社、北京東櫻花翻訳有限公司（英名：HC Beijing）を、現地の翻訳会社とともに合併で設立いたしました。現在、国内における当社グループの中国語翻訳サービスの受注は順調に推移しておりますが、今後さらなる事業拡大を図るために設立しました。すなわち、

中国国内での販路を開拓し、現地翻訳者を確保する体制が、必要不可欠と判断したため、現地法人の立ち上げを決定いたしました。この合併会社においては、日本と変わらない品質・サービスレベルの実現を目指し、事業を展開いたします。

## 株主の皆様への メッセージをお願いします。

当社グループは、つねに翻訳業界のリーディングカンパニーとして、潜在需要の開拓、翻訳市場の拡大に努めてまいりました。今後も営業力の強化、翻訳者の育成、基幹業務システムの整備などを通じて顧客満足の最大化、企業価値の向上、ならびに株主の皆様への利益還元を図ってまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 財務ハイライト Financial Highlights



四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当第2四半期末 2008.9.30現在	前期末 2008.3.31現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	1,879,607	2,114,332
<b>① 固定資産</b>	377,143	243,311
有形固定資産	49,244	64,028
無形固定資産	95,514	15,395
投資その他の資産	232,384	163,886
資産の部合計	2,256,750	2,357,643
<b>負債の部</b>		
流動負債	607,863	742,554
固定負債	124,390	120,768
負債の部合計	732,254	863,323
<b>純資産の部</b>		
株主資本	1,528,932	1,497,877
資本金	399,818	399,536
資本剰余金	290,198	289,916
利益剰余金	838,916	808,425
評価・換算差額等	△ 4,436	△ 3,556
その他有価証券評価差額金	△ 999	△ 1,480
為替換算調整勘定	△ 3,436	△ 2,076
純資産の部合計	1,524,496	1,494,320
負債・純資産の部合計	2,256,750	2,357,643

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期(累計) 2008.4.1~2008.9.30	前中間期 2007.4.1~2007.9.30
<b>② 売上高</b>	2,226,942	2,049,383
売上原価	1,173,154	1,068,250
売上総利益	1,053,788	981,132
販売費及び一般管理費	904,175	839,349
<b>③ 営業利益</b>	149,612	141,783
営業外収益	1,966	3,214
営業外費用	1,691	990
経常利益	149,887	144,008
特別利益	42	—
特別損失	2,468	12
税金等調整前四半期純利益	147,461	143,995
法人税等	71,155	79,254
法人税等調整額	—	2,537
四半期純利益	76,305	62,203

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期(累計) 2008.4.1~2008.9.30	前中間期 2007.4.1~2007.9.30
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 14,531	△ 1,743
<b>④ 投資活動による キャッシュ・フロー</b>	△ 152,378	△ 27,610
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 47,646	△ 16,265
現金及び現金同等物等に 係る為替換算差額	886	1,653
現金及び現金同等物等の 増減額	△ 213,670	△ 43,966
現金及び現金同等物の 期首残高	1,287,950	1,012,418
現金及び現金同等物の 四半期末残高	1,074,279	968,452

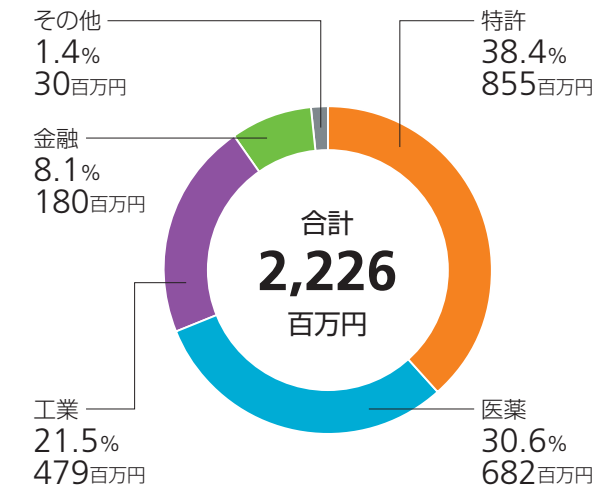
(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

当冊子の表記につきまして

当事業年度の連結及び個別の財務情報より「四半期財務諸表に関する会計基準」及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」を適用しております。従いまして、当四半期財務情報と前年同期財務情報とは、作成基準が異なるため前年比較に関する情報は参考として記載しております。

本報告書は四半期決算短信の数値、文章を基に作成しております。その後公表される可能性がある訂正情報、業績予想の修正情報や決算の詳細につきましては金融庁EDINETや当社ホームページの掲載資料にてご確認ください。

分野別売上高構成比



Point ① >> 固定資産

当社の収益基盤強化のための「翻訳プラットフォーム」(当社の保有する翻訳ノウハウや情報資産をデータベースとして構成するもの)の開発による無形固定資産の増加や中国・北京に合弁会社を設立したことによる投資有価証券が増加いたしました。

Point ② >> 売上高

主要4分野の推移につきまして、特許・医薬・工業分野は引き続き高水準の受注を獲得できたことにより増加しておりますが、金融分野は外資系金融機関からの受注が鈍化したため減少いたしました。

Point ③ >> 営業利益

当社(翻訳センター)において、第一次中期経営計画に基づく積極的な人員採用により主に人件費が増加しておりますが、米国子会社(HC Language Solutions, Inc.)の先行投資負担が減少したことから、増益となりました。

Point ④ >> 投資活動によるキャッシュ・フロー

無形固定資産の取得及び投資有価証券の取得による支出等によるものであります。

株式の状況 (2008.9.30現在)

- ◇ 発行可能株式総数 51,400株
- ◇ 発行済株式総数 13,095株 (自己株式はありません)
- ◇ 株主数 1,661名
- ◇ 大株主

株主名	持株数
株式会社 ウィザース	3,260株
東 郁 男	671
池 亀 秀 雄	506
浅 見 和 宏	416
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	347
翻訳センター従業員持株会	273
角 田 輝 久	256
岩 崎 泰 次	250
二 宮 俊 一 郎	231
儀 野 由 美 子	227

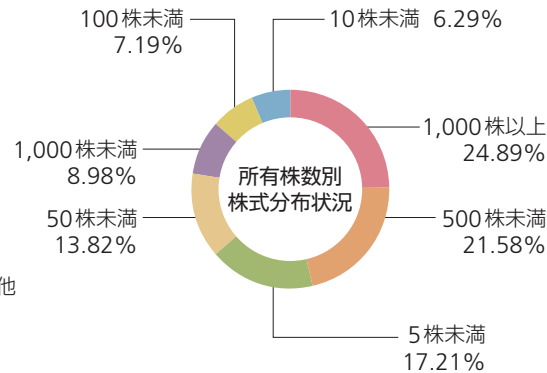
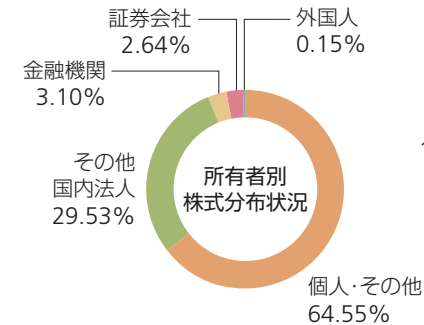
会社概要 (2008.9.30現在)

- ◇ 商 号 株式会社 翻訳センター
- ◇ 設 立 1986年4月
- ◇ 資本金 3億9,981万8,000円
- ◇ 従業員数 215名(連結)
- ◇ 事業内容 翻訳サービス業
- ◇ グループ会社 株式会社国際事務センター  
HC Language Solutions, Inc.  
北京東櫻花翻訳有限公司

◇ 役 員

- 代表取締役社長 東 郁 男
- 取 締 役 浅 見 和 宏
- 取 締 役 角 田 輝 久
- 取 締 役 二 宮 俊 一 郎
- 取 締 役 池 亀 秀 雄
- 取 締 役 柴 田 正 志
- 監 査 役 橋 正 宏
- 監 査 役 妙 中 厚 雄

株式分布状況



TOPICS 1

中国・北京に翻訳会社を合併で設立

中国でビジネスを展開される日系企業の皆様に翻訳サービスを提供するため、2008年、中国・北京に北京東櫻花翻訳有限公司(英名:HC Beijing)を設立しました。HC Beijingは、中国語翻訳の実績が豊富な北京緑櫻花翻訳有限公司(通称C-TRANS)と当社との中国現地合併会社であり、当社にとっては米国に続いて2つ目の海外拠点となります。新合併会社は、翻訳業界での両社の長年の経験と豊富な実績、及び各産業技術分野に精通した豊富なリソースを活かし、中国における産業翻訳ネットワークの構築を図ります。また、日本と変わらない品質・サービスレベルを目指し、迅速な対応、リーズナブルな価格への挑戦、日本人スタッフ常駐によるストレスフリーな対応などの実現を通じて、品質・スピード・価格の3要素を満たすサービスを提供すべく邁進してまいります。

TOPICS 2

人材派遣会社を子会社化



機密性の高い文書の翻訳や、翻訳業務を含む外国語での事務作業、多言語環境での営業・研究活動など、国際ビジネスを展開する企業の人材ニーズの多様化が進んでいます。このような動きを受け、本年10月に株式会社グローバルヴァから譲受した人材派遣事業を、「株式会社HCランゲージキャリア」として子会社化いたしました。高い語学スキルに加え、豊富な業務経験や専門性を有した人材を顧客ニーズに合わせて人材派遣・紹介できる体制を整備、顧客満足度の高いサービスの提供を目指してまいります。

TOPICS 3

「第18回世界翻訳大会」に参加

2008年8月4日(月)～2008年8月7日(木)に中国・上海にて開催された「第18回世界翻訳大会」(国際翻訳



家連盟主催)に参加しました。日本の翻訳会社を代表して、当社代表取締役社長・東が「日本の産業翻訳市場」についてのプレゼンテーションを実施。日本の産業翻訳市場や当社のビジネスモデルについて参加者と意見を交換するなど、熱気溢れる会議となりました。